

「北九州市臨海部産業用地・分譲推進本部」の設置について

「内航の拠点」として海運物流産業の集積を進めてきた新門司地区(マリナクロス新門司)においては、臨海部特有の問題もあり厳しい分譲状況が続いているが、平成25年度、輸出車両用のモータープールを誘致した。また、平成27年には、東九州自動車道(門司～宮崎)が開通し、さらに、同港に就航するフェリーの大型化も予定されていることから、拠点としての機能強化が進むことになる。

これらを好機と捉え、4月9日、梅本副市長を本部長に、「マリナクロス新門司」を重点取組地区とする「北九州市臨海部産業用地・分譲推進本部」を設置した。第一回会議では、同地区が抱える課題を区画ごとに精査するとともに対応策の検討を急ぎ、6月までに具体的な活動計画を策定することを確認した。

記

1. 重点取組地区 「マリナクロス新門司」 * 次頁マップ参照

2. 推進本部の体制

- (1) 名称 北九州市臨海部産業用地・分譲推進本部
 (2) 設立年月日 平成26年4月9日
 (3) 構成員 23名

本部長	梅本副市長	
	本部員	部会員
総務企画局	企画担当理事	政策部長
産業経済局	企業立地・食ブランド推進担当理事	企業立地支援部長
建築都市局	建築都市局長	都市交通担当部長
上下水道局	上下水道局長	水道部長、下水道部長
港湾空港局	港湾空港局長 港湾空港局営業・空港担当理事	総務部長、港営部長、 整備部長、営業担当部長

※その他、担当課長7名

- (4) 活動頻度 委員会：6回/年、 部会：適宜 *事務局は常設
 (H26年度)

3. 活動内容

- ① 課題の再点検
 - a. 近隣用地価格との乖離
 - b. 諸規制(分区条例、港湾計画など)
 - c. インフラの未完備
 - d. その他の課題(従業員の確保、南海トラフの影響など)
- ② マーケティング(ターゲットとなる顧客の再整理)
- ③ 活動計画の策定
- ④ 分譲体制の再検討

4. スケジュール

平成26年					平成27年				
4月	5月	6月	8月末	11月末	2月末	4～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
第1回委員会	第2回委員会	第3回委員会	第4回委員会	第5回委員会	第6回委員会	第7回委員会	第8回委員会	第9回委員会	第10回委員会
課題協議・活動方針決定			活動状況の確認		活動の分析・見直し (分譲体制・方針の再検討)	活動状況の確認			活動の分析・見直し (分譲体制・方針の再検討)
マーケティング (顧客リストの作成)			◎活動計画の策定		分譲活動				
←					→				
←					→				

☆「マリナクロス新門司」マップ

■:未売却用地 (31.7ha) *売却率 76.8%

